

大阪医科大学学歌

1. 暁映ゆる東の 山紫に水白く
天地こむる曙の 帳静かに明けゆけば
濃縁つづく松の辺に 立つ学舎の影をゝし
4. 北安満山に春暮れて 南にうねる大淀の
彼方に霞む生駒山 浪速の浦はかけろひて
夕日の西に沈む時 瞬きそむる指南星
2. 真理の力智の光 仁の泉か朝に夜に
慕ひて辿る先賢の 杏林繁く道遠み
高き使命を想ひては たぎるか若き胸の血よ
5. 鳴呼南溟の空遠く かのアマゾンの岸の花
はた崑崙かゴビの原 吾等の春は遠くとも
消えゆく若き日をしみ「時」の歩みの跡とめん
3. それ寂莫の夜は更けて 北斗の星の冴ゆる時
孤燈の下に繙く書も 三島の原に踏みしだく
小草の露の光にも 造化の秘義の啓示あり

大阪医科大学学歌

1. 暁映ゆる東の 山紫に水白く
天地こむる曙の 帳静かに明けゆけば
濃縁つづく松の辺に 立つ学舎の影をゝし
4. 北安満山に春暮れて 南にうねる大淀の
彼方に霞む生駒山 浪速の浦はかけろひて
夕日の西に沈む時 瞬きそむる指南星
2. 真理の力智の光 仁の泉か朝に夜に
慕ひて辿る先賢の 杏林繁く道遠み
高き使命を想ひては たぎるか若き胸の血よ
5. 鳴呼南溟の空遠く かのアマゾンの岸の花
はた崑崙かゴビの原 吾等の春は遠くとも
消えゆく若き日をしみ「時」の歩みの跡とめん
3. それ寂莫の夜は更けて 北斗の星の冴ゆる時
孤燈の下に繙く書も 三島の原に踏みしだく
小草の露の光にも 造化の秘義の啓示あり